

農学生命科学部

# 第17回 研究推進セミナー

【第24回 発生・生殖生物学研究室コロキウム 共催】

【新学術領域研究 配偶子産生制御 共催】

## DNAシーケンス技術の最新動向

演者：小柳 亮 先生

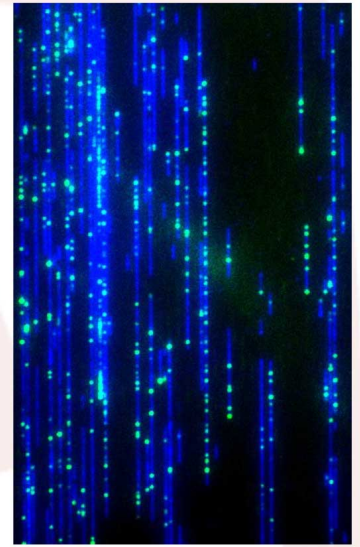
沖縄科学技術大学院大学 (OIST)

DNAシーケンシングセクション スタッフ

日時：平成28年2月2日 (火)

17:40~18:50

場所：弘前大学農学生命科学部402室



次世代型と呼ばれる高速超並列DNAシーケンサーを用いた塩基配列の解析技術はハードウェア、ソフトウェアの両面で急速な進歩を続けており、大量のデータを短時間に、低コストで得ることが可能になっています。多くの生物のゲノムがこの技術を利用して解読され、また遺伝子発現の定量やゲノム構造変異の解析など、さまざまなテーマへの応用が実践されています。これにより、現在のDNAシーケンサーは単なる塩基配列の読み取り装置にとどまらず、生命現象を定量的に理解するための基盤技術となっています。

本セミナーでは、開発が続く多様なDNAシーケンサーとその周辺技術について、それぞれの持つ特長と最新の動向を説明し、大量データを利用した研究事例を紹介します。

主催：農学生命科学部生物学科 発生・生殖生物学研究室  
小林一也 (内線3587 kobkyram@hirosaki-u.ac.jp)

共催：研究推進委員会 学部後援会